

1. なかなか遺産を訪ねる旅 車中にて村松伸「なかなか講義」あり
2. 第13回花咲プロジェクト IN 野田
3. 第14回花咲プロジェクト IN 吉里吉里
4. 「木造建築の耐震性」講習会に参加して
5. 活動報告
6. 編集後記

◆ なかなか遺産を訪ねる旅

〈旧達古袋小学校・銀山温泉木造3・4階建群〉

急遽、村松伸教授が参加いただけることとなり、車中にて「なかなか講義」が加わりました。

前号でお知らせした銀山温泉見学会を「なかなか遺産を訪ねる旅」と改め7月12日に開催いたします。

日時 平成26年7月12日(土) **能登屋旅館**※1にて昼食
盛岡7:30～花巻or北上～一関～旧達古袋小学校～
** **村松伸教授による『なかなか講義』****～銀山温泉
～あら伊達駅～一関～花巻or北上～盛岡着19:00



ながなが

申込閉切 7月5日(土)

会費 6500円(交通費、昼食代、保険代含)

主催 岩手県建築士会女性委員会 協賛 一関支部青年女性委員会

※1 能登屋旅館 ジブリ映画『千と千尋の神隠し』油屋のモデルにもなった郷愁を感じるノスタルジックな建物。

◆ ⑬花咲プロジェクトIN野田

〈泉沢地区農村公園仮設住宅38世帯〉

佐々木みゆき

但し、実際には5月25日に2世帯が引越したため36世帯でした。

当日は通常ではヤマセで肌寒いのですが、この時期としては暖かく晴天でした。女性委員会のメンバーが到着した時は、すでに大沢園芸さんがプランターを並べていて仮設住宅の住民の方々も十数名参加していただいて、とてもスムーズに作業することができました。

今回は野菜の苗と花ということで、若干植え方にコツがあるらしく大沢さんの説明を聞きながら時には参加していた住民の方が質問をするなど和気藹々の中終了しました。

前回は以前設置したプランターを回収しての作業だったのですが、今回は新規に設置ということで参加していない方にプランターを届けるのが前回よりは楽でした。

〈えぼし荘駐車場仮設住宅8世帯〉

小山田サナエ

開催チラシは社協の担当の方にお願ひして事前配布していたので、住民の方々へ声をかけて回ったところ、「待ってたよ」と言ってもらい、住民の方も自ら、



お隣りやお向かいに声をかけて勢揃い。住民の方はおばあさん・お嫁さんで5人十女の子1人。

先に到着していた北上支部の菊地さん家族から指南してもらい、花植え作業を開始。留守の方の分も植えて、玄関先に置いて回る。8世帯分だけだったので、30分程度で終了。

その後は、住んでいる方の女の子と、菊地さんの子ども達もすぐに仲良くなり、傍で遊び開始。おばあさん達と菊地さんのお母さんは外で談話。お天気が良いので日差しを避けたいが、なかなか日陰が無く、暑いね～と言いつつも話が尽きない様子。

道路向かいには、昨年からは始まった宅地造成工事が終了し、住宅が3棟建てていた。自力再建が2棟、戸建て公営住宅が1棟。8月頃に完成する予定とのこと。あとの2区画には基礎工事が終了したものと、縄張りしたものとあった。

さらに、奥の方へ進んでみると森の中に東屋らしきものやベンチがあり、海に向かった斜面には祠があった。戻っておばあさんに聞いてみると、海の守り神様だとのこと。昔、この高台には確かに人の営みがあったのだと改めて思った。

次回は再建した住宅の方と、仮設の方と、それぞれにプランターを設置したいと思う。



◆ ⑭花咲プロジェクトIN吉里吉里

〈吉里吉里中学校仮設住宅70世帯〉

小山田サナエ

◇ 苗:ミコトマト、ピーマン、ペコニア、ナス、タチヌーム

◇ 作業

いつものように、事前に東谷さんへお知らせチラシを郵送し、各戸に配布してもらっていたので、10時前には住民の皆さんが出てきて、また苗もすでに配達されていた。準備しながら、私たち会員が揃ったので、挨拶をして開始。今回は釜石支部の男性会員やその家族の女性陣の参加があり、いつも増して賑やかに。ほかの団体のプランターもあり、どれに植えてどこに置くのか、やはり東谷さんの指示がないと公平性の点で難しい。

今回ですでに7回目となり皆さんにも周知され、待っていてくれた様子で嬉しく思った。と同時に、3年に及ぶ仮設暮らしはどんなに不便だろう、どれだけ辛抱しているのだろうと、想像でしかないが少しだけ思いを共有することができる。

今回は保育園については、8月頃に本園舎が完成し引っ越しとのこと、花植えは行わなかった。次回の秋には、新しい園舎での子どもたちにも会えるのが楽しみ。花の提供については、改めて相談しながら進めたいと思う。

◇ お茶っこ休憩

花植えの作業は11時前に終了し、その後、集会所をお借りして、皆でお茶っこ休憩。会員持参のお菓子や飲み物で一息。



なんどお会いしてもなかなか名前を覚えることができず、また初めての参加者もいるので、皆で簡単な自己紹介。釜石支部の会員には地域のことがよく分かるので、話がしやすい様子。かさ上げ区画整理や高台移転地の造成を待っているとのことで、住宅再建などについての相談もみられた。



「また来て下さい。待ってます。」秋にまた来よう、改めてそう思いながら帰途についた。

◆「木造建築の耐震性」講習会に参加して 花巻支部 大坂久子

6月10日(火)東京大学生産技術研究所の腰原幹雄教授による「木造建築の耐震性(伝統木造建築から5階建て木造建築まで)」の講習会が、一関市産業教養文化体育施設 アイーム会議室にて開催されました

腰原先生の講演は、大学の講義を受けているような贅沢な時間でした。ですが、私には難しい内容のところがあり時折ついていけないようになりましたが、私なりに印象に残っている事をまとめてみました。

まずは木造建築の歴史と進化(変化)についてのお話です。日本では伝統木造建築から現代の木造住宅や多層・大規模木造へと進化している。ただ木造建築に関しては進化といっても少し違った意味合いのようです。

伝統木造に関しては、古い建物だから技術が未熟ということもなく現代でも技術を継承し続けている。その一方で明治以降は構造計算の技術も導入され、今までの伝統木造とは違った形で大規模・多層木造建築が可能になっていった。その中で規格化された木材を利用した軸組工法の木造住宅も大量に建てられるようになっていき現在に至っているのですね。

町並みについては、下見板張りのような建物が連なる歴史的な景観の町並みは趣があるが、経年劣化や木材の防火性能に弱い点などから、板をモルタルで囲うようになり、そこからサイディングという新材を張るようになっています。便利で手入れが楽になる分、大事なものが欠けていくような気がしました。

次に木造の耐震性に話は移ります。一般的に地震に弱いと言われていた木造住宅、様々な振動実験により木造の挙動を把握し、耐震性を向上させる技術が研究されていることをVTR等で紹介していただきました。また、建物の安全限界と言われていた1/30の傾きを、視覚的にテストを行いました。人によってその感覚は様々かと思いますが、私は思っていたより傾きが小さいと感じました。1/30というのは柱の太さが基準になっていて、傾きが柱の重心を超えると倒壊するかもしれないレベルのなるのだそうです。確かにそういう事かと納得でき、基準法の柱の太さの決め方にもちゃんと理由があったのだと理解できました。

木造住宅の構造基準については、現在の基準法で定めている数値はぎりぎりのラインで、通常は計算には含まれない垂壁や腰壁などを設けることで余力が生まれ、その余力が地震の時に効力があつた訳ですが、最近の意匠重視の設計では、その余力も失われてきているとの事。私たち設計に携わる者が、基準法で想定している耐震性では実際物足りないものであることを理解していた方が良さそうです。

ここ数年、都市木造が研究され需要も増えてきている中で、今後は木造住宅のような壁量計算によるものと、大規模木造建築の2本柱となっていくことと思われる。ただ、大規模建築を得意とする技術者からは木質構造が敬遠されがちだが、S造・RC造の知識を生かせるような技術情報を提供し、大規模木造に対して設計者を育成していきたいとの事で、腰原先生のお仲間で、木質構造の生産システムを研究されているそうです。

岩手県でも先生方の研究された生産システムを利用し大規模木造建築を手

がけられるような技術者が増えればいいなと思いつつ、自分もその一人になれるよう努力しなければと考えさせられる講演でした。

講演終了後、主催する一関支部の方々のご配慮で腰原教授と助教の佐藤さんを囲んでの懇談会にも参加させていただいて、ざつぱらなお話が聞けました事とても楽しい時間でした。本当にありがとうございました。

◆ 活動報告

6/1 第13回花咲プロジェクト IN 野田

14名: 泉沢地区農村公園仮設住宅・えぼし荘駐車場仮設住宅
十門地由加里、中塚アキ子、佐々木みゆき、繁名美佐子、古舘節子(久慈支部)
小山田サナエ、鈴木貴子(盛岡支部)、菊地美和、ほか家族6人(北上支部)

6/7 第14回花咲プロジェクト IN 吉里吉里

13名: 吉里吉里中学校仮設住宅
大坂久子(花巻支部)、佐藤智子(奥州支部)、東英輝、阿部智宏、岩間妙子、柏館官緒、作山之昌、作山愛、鈴木秀樹(釜石支部)、大森典子、鈴木貴子、小山田サナエ、鈴木佐貴子、(盛岡支部)

◇ 編集後記

先月より、いわて女性委員会通信を発行することとさせていただいております。不定期の予定です。6月に行われた「花咲プロジェクト」の様子を、逸早く皆さんにお知らせたく、発行することといたしました。

来月は、7/6(日)に建築士試験管理員協力(二級学科)、7/27(日)は建築士試験管理員協力(一級学科)の要請がありました。担当になった方、よろしくお願いたします。(え)

〒020-0887 盛岡市上ノ橋町1-50 岩織ビル内 TEL 019-654-5777

岩手県建築士会女性委員会 女性委員長 阿部えみ子